



お元気ですか  
志村 たかよし です

第570号 2011年12月11日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

## 第4回定例会で おぐり智恵子議員が質問

# 医療・介護・保育制度の充実を



質問するおぐり智恵子議員

第4回定例会が11月21日～30日まで行われ、22日には日本共産党区議団を代表しておぐり智恵子議員が一般質問をしました。

TPP。区政にも直接の影響が

野田首相が進めようとしている環太平洋連携協定（TPP）は、農業だけでなく、医療、労働、金融などあらゆる分野に大きな影響を与え、日本経済全体が衰退してしまう危険があり、大きな批判が全国的にも広がっています。

区が発注する公共工事で、中小企業や地元業者への優先発注も禁止されかねず、区政にも直接影響があります。

おぐり議員は区長に対し、TPP交渉参加の撤回を政府に求めるよう質問しました。

区長は、野田首相が「守るところは守る」としていると述べ、「農林水産業や国内経済への影響の懸念も指摘されているので今後の推移を注視する」という答弁にとどまりました。

### 社会保障の改悪は許さない

おぐり議員は、政府が「社会保障と税の一体改革」の名でおこな



### 【おぐり議員の質問項目】

- ① 区政や区民生活に重大な影響を及ぼすTPPについて
- ② 「社会保障と税の一体改革」について
- ③ 放射線測定と除染、食材の検査について
- ④ 「官製ワーキングプア」の解消について
- ⑤ 防災と環境に配慮したまちづくりについて
- ⑥ 築地市場問題について

おうとしている社会保障の改悪を許さないために、医療、介護、保育などの各分野にわたって質問しました。

医療の分野では、高すぎる国民健康保険料のため、中央区では国保世帯の3軒に1軒が滞納世帯となっていることや介護保険の利用率が50%に満たないという深刻な



実態を示し「社会保障切り捨てのオンパレード」をやめさせるための区長の見解を質しました。

区長は「必ずしも受診抑制につながるものではない」などと政府の「改革案」に肯定的でしたが、「区内の特養ホーム待機者3百人のうち、要介護4・5の方が半数となっており、施設整備が必要」と答弁しました。

### 自転車専用レーンの整備を

今年1月～8月の間に、都内では自転車事故が1万2600件おきています。中央区でも260件（11月14日現在）おきており、このうち、人との接触事故は16件となっています。

軽微な事故は、届け出がなく、ほとんど数えられていないと言うことなので、歩道上で人と接触する事故はもつと多いと考えられます。

自転車は車道が原則と言われても、駐車している車もあり、危険がいっぱいです。早急な自転車専用レーンの整備が求められています。

おぐり議員は、警視庁が自転車走行用青色レーンを検討していることなどから、自転車事故を防ぐためにも区道などでの自転車専用レーンの整備を求めました。

区長は「警察署と協議しながら検討する」と答弁しました。

自転車問題は関心が高いだけに、他の会派も取り上げていました。



## 「臨海都民連」が第22回総会

「臨海部開発問題を考える都民連絡会」は、11月26日、第22回総会を開きました。

総会では、石原都知事がすすめる2020年オリンピック招致反対、臨海副都心開発の見直し、豊洲新市場の建設反対、京浜3港統合・民営化に反対、都外郭団体の調査、などに取り組む方針を決めました。

日本共産党のあぜ上三和子都議や東京自治労連、革新都政を



報告する市川事務局長

つくる会からそれぞれあいさつがありました。

また、末延渥史氏から東京における防災問題についての特別報告がありました。



あいさつする あぜ上三和子都議



末延渥史氏の特別報告

「意見、ご要望など、お気軽に」連絡ください(03-6601-6600)